

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

有限会社 小川清掃

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・廃棄物収集、し尿汲み取り事業では毎日朝礼・終礼を実施しており、経営目標等について社内共有している。 ・介護施設では毎朝の朝礼にて、経営理念の唱和を行っている。									8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・月1回の会議の際に法令遵守の重要性について発信している。 ・毎朝のアルコールチェックや会議における虐待事例の共有、安全運転の指導等、法令を確実に遵守する体制を構築している。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公表している料金表に基づいた契約を徹底することで公正な取引に努めており、社員への重要性を周知している。											10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・専務(清掃事業)、施設長(介護施設)を担当者として任命し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応している。 ・バリューチェーン分析を実施し、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・定例会議にて知的財産の重要性について社員への周知を行っている。									8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報等については取扱担当者を限定し、厳重に保管している。 ・介護施設事務所内では、個人情報の重要度に応じた管理を徹底している。 ・入社時に個人情報管理についての誓約書を受け入れている。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者: 消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ステークホルダーとの対話を行い、自社活動が及ぼす影響について把握し、適切に対応している。 ・自治体やケアマネジャーと連携し、よりよい事業運営に努めている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・組合や自治体、宇城小川有料老人ホーム連絡協議会をはじめとした地域事業者とのコミュニケーションにより、環境面や倫理面での適切な対応についての情報交換を行っている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・【予定】2023年12月までにBCPを策定する。											9			11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・環境整備事業協同組合青年部の勉強会に参加し、労務・総務における知識を習得し経営に還元している。 ・担当税理士と共に事業承継に向けた対策に取り組んでいる。										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5				8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に差別や各種ハラスメントの禁止について定め、社員への周知、徹底を行うことで、社内での差別や人権侵害を防止する体制づくりをしている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・夏季には熱中症対策として空調服を支給し、衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・介護施設において機械浴を導入し、社員の身体的な負担を軽減することで事故やケガの防止に努めている。			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・賃金規程を定め、規程に沿って従業員(正社員・パート社員等)の公正な待遇を徹底している。					5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・廃棄物収集、し尿汲み取り事業においては、完全週休2日制や柔軟な休暇取得により、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。 ・介護事業においては、社員の希望を反映しつつ9日の休暇を設けている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・実務者研修やマネジメント研修等、様々な研修制度を設けることで人材育成に努めている。 ・資格取得費用の負担や資格手当の支給により、従業員のモチベーションの向上を図っている。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断や予防接種費用の補助を行い、従業員の健康維持に努めている。 ・空調服、マスクや消毒用アルコールの支給を行うことで熱中症、感染症の防止に取り組んでいる。 ・使用者賠償責任保険の相談ダイヤルを社員に周知し、不安や悩みを相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・再雇用制度や勤務形態に配慮することで、高齢者や障がい者が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・施設内でのパーティションの設置や、施設利用者と家族のオンライン面会の場を設ける等、感染症対策に積極的に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・浄化槽の状況管理システムを導入、利用することで業務の効率化を図っている。 ・【予定】2023年12月までに介護施設でのタブレット導入により、施設利用者の健康状態について効率的かつ正確に管理を実施する。									8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社 小川清掃

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物を収集し処理事業者へ持ち込むことで、円滑な廃棄物処理の一翼を担っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所や施設へのLED照明の設置により、節電に取り組んでいる。 ・太陽光発電を設置し、再生可能エネルギーを積極的に利用している。 ・【予定】2023年12月までに簡易計算シート等を用いて自社のエネルギー量を把握する。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・太陽光発電による電力を自社で消費することで温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。 ・【予定】2023年12月までに簡易計算シート等を用いて自社のエネルギー量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・廃棄物収集、し尿汲み取り事業により環境保全に貢献し、生物多様性への悪影響を防止している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・地域の規程に沿った適切なごみの分別により、資源の有効的な利用に貢献している。 ・積極的な裏紙利用により紙の廃棄量の削減に努めている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・本業の浄化槽の維持管理により汚水を適切に処理することで、熊本の水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務所内のグリーン購入を促進している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・利用者に合わせた食事の提供により、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2					6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所敷地には植栽を行い、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光発電を設置、自社利用しており、再生可能エネルギー利用の推進に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・廃棄物収集を行うことで、廃棄物による海洋汚染の防止に貢献している。															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●													9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 小川清掃

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・介護ロボットやリフト等の介護機器を導入することで、安定した品質のサービスを施設利用者に提供している。			3.9						9				12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・介護施設内はすべてバリアフリーにすることで、誰もが利用しやすい環境を整備し、施設利用者の快適な生活に貢献している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・高齢者入居施設の経営により、高齢者への住まいの提供、健康増進に貢献することで社会課題解決につながっている。 ・廃棄物収集、し尿汲み取り事業により、環境への悪影響の防止に努め社会課題の解決に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・自治体との災害協定により、災害時の仮設トイレの汲み取りや廃棄物収集を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・介護施設において、様々な災害を想定した避難訓練を年に2回行うことで、防災対策に取り組んでいる。 ・管理者がハザードマップを確認し、事前防災対策に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs委員会を月1回実施し、環境・社会・経済に対して会社が及ぼす影響等を話し合い、全従業員にその内容を情報発信している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・介護施設において地元小学生の職場体験や器学部による演奏会を実施することによりコミュニケーションを図るとともに、職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元高校の卒業生を雇用する等、若者の県内就職を促進している。				4.4				8.5 8.6											17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。